

令和6年度

試験名:個別学力検査(後期日程)

【情報学群 知識情報・図書館学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
小論文	<p>問題1</p> <p>問1</p> <p><出題意図> 論理的思考力、理解力を見る。</p> <p><解答例> (1) (ア)</p> <p>(2) (イ):米の生産量を需要に合った量に減らすことで米価は上昇するが、米の生産量を減らすという方策は不実の米商売を黙認することと結びつかないから。(70字) (ウ):米の生産量を増やすと、米の需要が増加しない限り米の供給が過多になり、その際米の需要を増加させる方策がとられないとますます米価が下落するから。(70字)</p> <p>問2</p> <p><出題意図> 論理的思考力、理解力、表現力、発想力を見る。</p> <p><解答例> 米作にとって望ましい気象条件が持続することで、米の生産量が増大したから。(36字)</p> <p>問3</p> <p><出題意図> 論理的思考力、理解力、表現力を見る。</p> <p><解答例> 1650年頃から1702年頃にかけても、1702年頃から1834年にかけても、石高は増加しているのに対し、人口は1590年頃から1721年にかけて大きく増加した後、ほぼ横ばいである。そのことは、米の供給が増大している一方で、人口成長に歯止めがかかり米の需要は停滞していることを意味する。このことから、この時期の米価下落が構造的問題だと著者が捉える根拠は、米の供給と需要の不均衡であると推測される。(198字)</p> <p>問題2</p> <p>問1</p> <p><出題意図> 理解力を見る。</p>

<解答例>

人間の目は紫色より青色に対する感度の方が高いから。(25 字)

人間の目は紫色より青色に対してより敏感に反応するから。(27 字)

問2

<出題意図>

論理的思考力、表現力を見る。

<解答例>

A: 著者は、「なぜ空は青いのか」という幼いこどもが抱くような疑問を、ニュートンやアインシュタインのような歴代の著名な科学者たちも解こうとしてきたということについて、問そのものが素朴かつ単純であること以上に、解くのに何世紀もの時間がかかったことや科学の多くの分野が含まれていることを好ましく思っている。(148 字)

B: 「なぜ空は青いのか」という幼いこどもが抱くような疑問に答えようとするとき、光の波長や散乱のような物理学的知識や窒素や酸素などの分子のサイズに関する化学的知識、さらには人間の目が色を知覚する仕組みのような医学的知識など、多岐に渡る科学知識が必要となることから、ここに科学の大部分が含まれていると言える。(150 字)

問3

<出題意図>

論理的思考力、理解力を見る。

<解答例: 式>

$$Z \div 16$$

<解答例: 計算過程>

問題文中に「光の散乱強度は波長の4乗に反比例する」と書かれており、色Xの波長は色Yの2倍なので、色Xの散乱強度は $Z \div 2^4$ となる。

問4

<出題意図>

論理的思考力、理解力、表現力、発想力を見る。

<解答例>

「なぜ空は青いのか」という疑問の解明に際して、インターネットが普及していた場合でも普及していない場合でも、複数の専門分野の知識を総合して考える過程は類似している。なぜなら、空が青いという現象には、物理学や化学、医学など異なる分野が関わっているからであり、その事実は情報収集の手段が異なっても変化しないからである。一方で、インターネットが普及していた場合、複数の専門分野にまたがる今までの研究成果を得るといった情報収集過程が短縮され問いの早期解明が期待される。なぜなら、インターネットという手段を利用することで大量で多様な情報に瞬時にアクセスできるようになるからである。(283 字)